

市販艇全日本選手権を終えて

私にとっての RC ライフの1番のイベントとして、全日本選手権には毎年参加しています。大会に照準を併せて、ラジコンヨットを楽しんでいます。

一昨年、グレーシャスは初参加でしたが、大会前には、2度しか水に浮かべてなく、新艇でしたので、参加するだけで良いと思っていたのですが、グレーシャスのニュートラルな特性や、完成度の高さが一因だと思いますが、初勝利となってしまいました。

昨年の、914とグレーシャスは、ぶっつけ本番で、勝とうと言う甘い考えの為、、、台風を言い訳に、途中棄権しましたが、準備不足と、経験不足が、原因で上手く走ってくれませんでした。

そして今年、出来れば914で入賞したいと二ヶ月前から練習を始めました。ところが、普段走らせているシーウインドと特性が全く違い、今までのノウハウが、全く通用しません、毎週走らせながら、ずっと試行錯誤しながら自分なりの914対策をしてきました。

大会当日、予報では6~8mの風、、、強風対策としては、レースの途中でシートが緩まないように、テンションをかなり強くしました。

木立からの風、乱れた風で、スタートの遅い私にとっては、風を見極めると、逆転のチャンスです。競技途中で、風が益々上がり、Bリグに換える選手も出てきました、持たない私は、これで終わったなと焦りましたが、Bリグの艇を見ながらセールスのヒントを得て、一つしかないセールのセールカーブの見直しをしました。

その後も、順位をあまり落とすことなく、走ることが出来ました。正直、このことが今大会の最大の収穫です。

大会中に会長代理の石川氏から、シーマンシップのお話がありました。

私も、競技中は、熱くなり大声を出してしまう場面が在りました。

接触を避けるためには、権利を大きな声で主張するのは必要ですが、相手と権利がブツカッテ、判断しにくいときは、相手に譲るように心がけています。焦る心が無ければ譲ることが出来ます。それは権利の主張に集中するよりも、レースに集中するほうが良い結果が得られるからです。譲った相手を追い越すことが良くあります。

逆に譲られたら、いつの間にか追い越されていることも良くあります。

来年のテーマは、如何にスマートな権利主張や、譲り合いが、出来るかに、、、諸先輩の、走りを見ていると、優勝するよりも大切な物があるように思います。

最後にRCヨットを通じて、皆様にお会いできたことを感謝いたします。

宮崎 秀三